

不可んなアと思ふたら、餘計柔順なだに拵えをするのや。サア何にも無いけど辛抱して飲どくなはれ、併し時刻も晚いするさかい。身體の爲めに良ふないよつて。前で心配して見てる妾が可哀想なと思ふたら、成るべく控えとくなはれやと、女らしふ云ふて見なはれ、男と云ふもんは子供と同じ事や、腹も何も有らへん、自分の云ひ條さへ通たら夫れで得心するのや。そない心配するのやつたら、明日の朝の事にせふかいと斯ふ成るのや、つまり貴女の云ひ廻しが悪かつたんやさかい、あとで能う詫つとかな不可んし。又吉やんも叩いたりして何やいな。何も此妓が悪氣で止め立てしたのや無し皆貴所の爲を思やこそ氣に入らん事の一つも云ふのや無いか、そら此妓かて他の人と違ふて貴所に叩かれたんやさかい、口では彼あない云ふても、腹では嬉しいのやろ、泣いてたかて嬉し泣きやろけども、矢つ張り未だ奉公してる身體や、親方から苦情が出たりしたら、要らん斷りの一言も云わんならん、なア吉やん夫ふやろがナ。まア御互に餘り仲が宜ふて、遠慮が無き過ぎるさかい出來た喧嘩やろけれど、あんまり此妓を虐めて遣るのは殺生やし、可哀想に此妓と云ふたら明けてても暮れても、貴所の事ばつかり想ひ通して居るのやもんナ、チョツと二日も顔を見なしたら、夫れこそ大騒ぎや、風邪でも引いたんや無いやろか、豪ふ悪いのと違ふやろか云ふて、皆が五月蠅がる程八釜しい云ふのやカナ。此間も貴方可笑しいのやで、妙見さんへ午おひまの日詣りをするのやさかい、交際つぎあふて呉れちウ物や依て、まア一處に往たと思ひなはれ、途で堀江の橋通りを通たらナ、荒物屋の表へジツト佇つて動けへんねが

な。なアお婆おばちゃん、二人暮しやつたら、どの位の大きさのお櫃やつたら宜えのやたら。お膳は抽出しの附いたのが慾しいたら、男のお茶碗は大きい方が値うちが有るたら、何や彼や云ふ物やさかい、丁稚ぼんさんがジイと顔見るのやがナ、あてテレ臭い。まア他の妓と云ふたら、やれ鮮やの饅飩やの善哉やの店屋物の事より他に考えてやへんのに、此妓はモウ世帯道具ばかり慾しがつてゐる、一日も早ふ貴方と一緒に居るのを楽しみに仕て居るのや、そんな事も鳥渡考えて、も少ふし可愛がつて遣らな不可へんし。明日でも又此妓の悪い處は、妾が能ふ云ふて聴かしくさかい。今夜は此婆に免じて勘忍して遣つとう。コレお前まへはんも何時いつまで泣いてゐるのやいな、早ふ何なと見繕るふて、機嫌直して飲んで貰ひんか。サア早ふ仕んかと云ふのに。妾あないが按配あはせしてお相伴もし度いのやけど、未だ妓女こぞさんが二人残てるのやがナ。彼の妓等を仕舞ふて貰はにや、何ないも出來へん。下へ降りて來る依つてに、具合よろして吉やんに能ふ詫つときで。そんなら吉やん、どうぞ宜ろしふ頼んます……イヤ濟まんナア。お世話はんだす。……夫れ見い、シヨム無い片意地吐すさかい、お婆はんの世話にならにや成らぬ……(妾が悪かつたんやワ。貴方の氣も能ふ知てる癖に、何んで妾イ、こんな阿呆やろ)……(解りさえすりや夫れで良えがナ。併し痛かつたやろ)……(痛かつたか何うや解れへんけどな。先刻貴方が、コラもつと撲つてやろか云ふて手を振り上げたやろ、彼の時の男らしい恰好云ふたら。下から見上げてア、良え男やなア思たらナ。笑ひなや。身體がゾーツとして、いつそ殺して慾しかつた)……